

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	宮前町	市道長野線（とこなげ口～日の出橋） ①市道長野線及び橋梁拡幅工事	道路修繕工事の要望については、市内各所から数多くの要望をいただいております、実際の修繕については、通過交通量が多く緊急度の高い箇所から順次実施しているところですが、当該路線については、交通量や道路線形から判断し、通行の支障となる箇所については拡幅工事を完了しています。 ただ、先ほどの話で、府道から橋までの拡幅だけでもできないかとのことでありましたが、その内容については、実施可能な手法等を含めて検討したいと考えていますので、ご理解をお願い致します。	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
2	宮前町	市道東池線の段差（陥没）補修について	舗装修繕については、陥没、クラック等の路面状況で、緊急度の高い箇所から順次実施しております。補修は損傷状況に応じて、応急的に補修材で対応しており、補修材での対応が難しい広範囲な修繕箇所については、点々舗装工事にて対応しているところです。 当該箇所については、路肩が沈下し、車両等の通行に支障をきたしていることから、今年度内での舗装修繕を実施します。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	当該箇所の舗装修繕は、11月に実施しました。
3	宮前町	市道大端稲荷線舗装打ち換え	当該路線については、一部、端部のL型側溝も損傷しており、排水勾配の修正等も必要となることから、舗装も含め全面的に修繕する必要があるため、自治会からの要望事項の優先順位もふまえ、年次的に取組んでいきたいと考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
4	宮前町	市道海道の上平井線、太尾11番地 側溝の新設について	当該要望箇所については、自治会からの要望事項の優先順位1位ということもふまえながら、一度現地立会をさせていただいて、修繕内容等、意向を聞いたうえで実施に向け、対応していきたいと考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	当該箇所の側溝新設工事は3月に実施しました。
5	宮前町	地域のにぎわいとつながりを取り戻すために	（移住促進について） 宮前町は、京都府移住促進条例に基づく移住促進特別区域の指定を受けており、移住者受け入れに積極的に取り組んでいただいております。 都市部に現在居住されている移住検討者には、生活の利便性や現在の仕事はそのまま維持しながら緑豊かな地域で暮らしたいとの希望も多く、宮前町はそうした希望に沿うことができる地域であると考えています。移住者を受け入れるためには住居の確保が必要となりますが、移住希望者はいきなり家を購入するのではなく、最初は賃貸で住宅を探される傾向が強いです状況です。したがって、移住者に住んでいただける賃貸の中古住宅があるかどうか、移住者受け入れのポイントとなってきます。空き家バンクに登録いただいた物件に市外から移住者が入居された場合、空き家改修や家財撤去の補助金が活用可能となりますし、移住者が住まれることで、家の維持管理にもつながります。 移住者受け入れの第一歩として、ぜひ移住者の住居確保に地域としてもご協力いただければと考えています。	市長公室長	①実施	現在宮前町への移住に向けて調整を行っている方がいらっしゃいますが、課題は住宅の確保となっています。 地域の活性化のためにも空き家バンクへ登録いただくよう、地域の皆様にも御協力をお願い致します。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	宮前町	地域のにぎわいとつながりをとり戻すために	<p>(空き家対策について)</p> <p>空き家対策の基本としては、空き家といえども個人の私有財産であることから、関連法令及び計画等に沿って対応を行っております。事情や条件が様々に異なる空き家すべてに対し所有者を調査し、各個に自主的な対応を促しており、その過程で、空き家自体を放置することが大きなリスクや経費的負担を伴うものとなることも説明を加えて、事前の不利益告知により迅速な対応を促しているところです。</p> <p>住宅・土地統計調査によると、市内には2310戸の一戸建ての空き家が存在するとされ、その内400軒程度が管理の行き届いていない問題のある空き家であると推計しています。昨年度に寄せられた空き家に関する相談は、市内全域で52軒、宮前町では2軒でした。また、事業開始の平成27年度から今年6月30日時点の通算では、市内全域で134軒、宮前町では5軒となっています。</p> <p>今回の湯の花平区民の駐車場とした事例については5軒のうち1軒に含まれており、市も管理に問題がある空き家として相談を寄せられた当初から関心を持ち、その交渉に関して地元と所有者の双方に関わりを持ちつつ、その経過に注目していましたところ、今年の2月初旬には建物が除却され、2月末には駐車場となっていることが確認できました。</p> <p>当該空き家は、壁面の老朽化が著しく、地元において侵入防止の措置を行うなど、取り組みも大変なご負担であったと認識しており、今回の成果により、空き家の危険性の除去だけでなく、地元へ便益を供するという先進的な取り組みとなったことは地元の尽力の賜物だと考え、敬意を表するところです。今後の取り組みについては、基本的な考え方を踏まえつつ、それぞれ個々の条件に沿った対応を行うこととし、引き続き所有者等に働きかけていきたいと考えているところです。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	こん談会での回答のとおりです。
7	宮前町	ききょうの里の運営について	<p>来年はいよいよ大河ドラマ「麒麟がくる」の放送がスタートし、サンガスタジアム内に大河ドラマ館がオープンし、そこを訪れた方々に、光秀公だけでなく魅力を知っていただき、市内の観光スポットへの集客やリピートに努めていきたいと思っています。</p> <p>ききょうの里については、平成16年から明智光秀公顕彰会、亀岡中央ロータリークラブが中心となり、谷性寺檀家総代をはじめ、猪倉農家組合、宮前町などによる「丹波/亀岡ききょうの里をつくる会」で運営していただき、「光秀公のまち亀岡」のシンボルとなる新たな観光地としてにぎわいを創出いただいております。本市としても観光協会と連携し、オープン前の6月には京阪神の主要駅での観光キャンペーンをはじめ、JR京都駅観光案内所「京なび」や道の駅「味夢の里」等へのチラシ設置のほか、各種ホームページやSNS、公共交通機関発行の観光情報誌への掲載など、積極的に情報発信に努めています。</p> <p>また、昨年度あたりから、人口減少や高齢化の進展等により、園の運営がきびしくなっていると伺っておりましたので、行政としても何らかの支援をしていかなければならないと考えていますが、行政としましては、あくまでも地域の取り組みを応援していくという立場でありますので、ききょうの里をつくる会さんに、地元自治会や公共的団体等を加えた新たな枠組みを作っていただき、持続可能なかたちで支援、協力をさせていただきたいと思っています。西部地域におけるにぎわいと交流の拠点をつくるためにも、宮前町自治会にはぜひその枠組みのとりまとめ役として、ご参加いただければと思っていますので、よろしく申し上げます。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
8	宮前町	ききょうの里の運営について	<p>ききょうの里の一部再整備について</p> <p>今年度、ききょうの里を2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映に併せて、広く市内外の人に親しまれる場所として、「丹波/亀岡ききょうの里を作る会」の皆様のご意向を踏まえ「ききょうの里」の再整備を地方創生推進交付金を活用し、進めることとしております。先日も整備計画の策定に向けまして、ききょうの生育環境の改善に向け相談している専門家の方やききょうの里をつくる会の方、また今後の維持管理に関わってもらおうと考えている亀岡市都市緑花協会と整備に向けた意見交換を行ったところでございます。</p> <p>今後、整備計画を策定いたしまして、来年の1月末頃の整備完了を目指して取り組んでまいりたいと思っております。また整備後につきましても、亀岡市都市緑花協会に関わってもらうとともに、専門家の助言も得るなかで地域と連携し、持続的に、かつ、適正な維持管理について支援してまいりたいと考えています。</p>	まちづくり推進部長	①実施 ③検討	<p>本整備については、植栽や庭園、植物の生育に関する専門家等の方々にも御協力をいただき、キキョウの生育環境の改善や来園者に多くのキキョウを楽しんでいただける全国に誇れる魅力ある「丹波/亀岡 ききょうの里」の整備を今年度3月末頃完了に向けて取り組んでいるところです。</p> <p>整備後の維持管理につきましては、「丹波/亀岡 ききょうの里を作る会」様の御意見等を伺いまして、持続可能な維持管理体制ができるよう支援してまいりたいと考えています。</p>
9	宮前町	宮川の歴史と半国山登山道について	<p>地域の皆様には、当ハイキングコースの整備等にご尽力いただきありがとうございます。市としましても、亀岡市観光協会と連携して市内の各コースを定期的に巡回し、倒木整理や道をならす等の作業を実施しており、昨年度は、当ハイキングコース内において4カ所ほど案内板等を設置させていただきました。</p> <p>しかしながら、昨年大雨や台風の影響により、コース内には倒木等が発生しておりますので、地域の皆さまとともに整備を進めてまいりたいと考えていますが、昨年に、2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」の放映が決まったことから、気分の盛り上げとして現在、光秀公ゆかりの地であるハイキングコース等の復旧を急いでいるところであり、半国山の整備について、本年度よりかかれるかはわかりませんが、順次進めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、近年、案内板等については、多くの要望をいただいているところですが、看板については、直射日光で消えやすい問題があるとか、一度書いたものを修正、訂正するのは非常にお金がかかる等難しいこともあり、一部では、デザイン化であったりデジタル化また、ITの活用というのが求められる時代になってきていますので、現在そういった部分での計画について見直しをしている状況でございます。</p> <p>そうしたことから、市において設置することはできませんが、設置にあたって協力できることは協力させていただき、また、設置後のPR等についても積極的に実施させていただきたいと考えております。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。